

四半期報告書

(第18期第2四半期)

株式会社アイフィスジャパン

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	
第一部 【企業情報】	1
第1 【企業の概況】	1
1 【主要な経営指標等の推移】	1
2 【事業の内容】	1
第2 【事業の状況】	2
1 【事業等のリスク】	2
2 【経営上の重要な契約等】	2
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	2
第3 【提出会社の状況】	4
1 【株式等の状況】	4
2 【役員の状況】	5
第4 【経理の状況】	6
1 【四半期連結財務諸表】	7
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社アイフィスジャパン
【英訳名】	IFIS JAPAN LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 大沢 和春
【本店の所在の場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【電話番号】	03-6825-1250
【事務連絡者氏名】	取締役 管理担当 野口 祥吾
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【電話番号】	03-6825-1250
【事務連絡者氏名】	取締役 管理担当 野口 祥吾
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期 連結累計期間	第18期 第2四半期 連結累計期間	第17期
会計期間	自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高 (千円)	1,211,521	1,488,230	2,446,063
経常利益 (千円)	90,226	142,500	181,123
四半期(当期)純利益 (千円)	53,800	105,497	124,088
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	50,929	104,604	121,928
純資産額 (千円)	1,534,370	1,681,561	1,602,227
総資産額 (千円)	1,899,096	2,251,254	1,958,458
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	1,090.79	2,190.60	2,545.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1,089.31	2,187.92	2,542.47
自己資本比率 (%)	78.0	72.4	79.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	131,614	166,479	268,902
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△8,371	△42,906	△49,360
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△63,515	△33,059	△66,656
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,208,775	1,392,446	1,301,933

回次	第17期 第2四半期 連結会計期間	第18期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	758.02	1,347.42

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第17期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間よりITソリューション事業において、新たに株式を取得したため株式会社インフォテックが連結子会社となり、ドキュメントソリューション事業において、重要性が増したため上海凱懿商貿有限公司が持分法適用の関連会社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景とする堅調な内需に支えられ、全般的に明るい兆しが見えているものの、欧州債務危機の長期化や、新興国経済の減速、電力供給に対する懸念など、景気の先行きに対する不透明な状況が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ITソリューションプロバイダとして独自の技術をもつ株式会社インフォテックを平成24年2月17日付けで子会社といたしました。これにより、金融情報サービスベンダーとして「紙媒体と電子媒体の融合」のコンセプトのもとに推進してまいりましたソリューション事業のさらなる展開が図れる体制を構築するとともに、株式会社インフォテックが長年培ってきたITソリューション事業を加え、より一層の多彩なサービスを提供することが可能となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,488,230千円（前年同期比276,709千円増、22.8%増）、営業利益は135,531千円（前年同期比46,435千円増、52.1%増）となりました。また、経常利益は142,500千円（前年同期比52,274千円増、57.9%増）、四半期純利益は105,497千円（前年同期比51,697千円増、96.1%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）といった主力商品が、昨今の株式市場の低迷などによる証券会社や運用機関の収益の伸び悩みの影響を受け、業績の伸びに陰りが出てきております。一方、オンライン証券向けのASPサービスが堅調に推移したことに加え、大手証券会社向けASPサービスの導入が前期に引き続き業績に寄与しております。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュースも拡大基調を継続しており、順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は292,663千円（前年同期比13,238千円減、4.3%減）、営業利益は110,284千円（前年同期比18,938千円減、14.7%減）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

翻訳事業が順調に業績を伸ばすとともに、配送事業が昨年の東日本大震災による業績落ち込みからの回復が見られました。しかし、金融法人における証券調査レポートの電子配信に伴う印刷物の減少や、事業法人におけるIR活動の縮小に伴うコスト圧縮などの流れが続いており、印刷需要全体の減少傾向は昨年引き続き継続しております。

その結果、売上高は456,477千円（前年同期比13,627千円増、3.1%増）、営業利益は48,026千円（前年同期比4,454千円減、8.5%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投信会社において投資信託関連印刷物に対するコスト削減意識が依然として継続しており、当社においても印刷受注量の減少傾向が続いております。一方で確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材が順調に業績を伸ばしており、印刷の受注量減少を補ってまいりました。

その結果、売上高は502,916千円（前年同期比40,147千円増、8.7%増）、営業利益は133,705千円（前年同期比38,529千円増、40.5%増）となりました。

< I Tソリューション事業 >

I Tソリューション事業につきましては、第 1 四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めた株式会社インフォテックの四半期損益計算書を、平成24年 3 月31日をみなし取得日としたため、当第 2 四半期連結会計期間より連結しております。当第 2 四半期連結累計期間においては、当該連結子会社の主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスが堅調に推移するとともに、マイグレーションサービスが順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は236,172千円、営業利益は27,467千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第 2 四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ292,795千円増加し2,251,254千円となりました。流動資産は285,736千円増加し、1,897,574千円となりました。主な要因は、株式会社インフォテックを連結範囲に含めたことにより流動資産が321,646千円増加する一方で、株式購入資金として144,417千円を支出したことによるものであります。固定資産は7,059千円増加し、353,679千円となりました。主な要因は、株式会社インフォテックを連結範囲に含めたことにより固定資産が35,330千円増加する一方で、減価償却などの影響によりソフトウェアが17,038千円減少したことによるものであります。

当第 2 四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ213,462千円増加し569,692千円となりました。流動負債は188,899千円増加し、542,217千円となりました。主な要因は、株式会社インフォテックを連結範囲に含めたことにより、流動負債が163,023千円増加したことによるものであります。固定負債は24,562千円増加し、27,475千円となりました。主な要因は、株式会社インフォテックを連結範囲に含めたことにより、固定負債が24,685千円増加したことによるものであります。

当第 2 四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ79,333千円増加し、1,681,561千円となりました。主な要因は、四半期純利益105,497千円の計上と、剰余金の配当28,895千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ90,513千円増加し1,392,446千円となりました。当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、取得した資金は166,479千円（前年同期は131,614千円の取得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益151,810千円、減価償却費69,740千円、仕入債務の増加額17,668千円であります。また、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額17,840千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は42,906千円（前年同期は8,371千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出33,532千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は33,059千円（前年同期は63,515千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払い28,895千円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間において、該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	169,600
計	169,600

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	51,070	51,070	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株制度を採用していないた め、単元株式数はありません。
計	51,070	51,070	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	—	51,070	—	381,290	—	437,090

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合 (%)
株式会社大澤商事	東京都新宿区神楽坂五丁目20番5号	15,000	29.37
大澤 和春	東京都新宿区	8,950	17.52
大澤 由利子	東京都新宿区	2,500	4.90
株式会社B&S	東京都中央区日本橋小舟町9番2号	2,303	4.51
アイフィスジャパン従業員持株会	東京都千代田区西神田三丁目1番6号	1,106	2.17
大澤 由加子	東京都新宿区	1,000	1.96
大澤 弘毅	東京都新宿区	1,000	1.96
浅井 祐宣	神奈川県横浜市都筑区	870	1.70
入子 晃一	埼玉県飯能市	782	1.53
川名 雅之	東京都台東区	667	1.31
計	—	34,178	66.92

(注) 上記のほか当社所有の自己株式2,911株 (5.70%) があります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,911	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 48,159	48,159	—
発行済株式総数	51,070	—	—
総株主の議決権	—	48,159	—

② 【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社アイフィスジャパン	東京都千代田区西神田 三丁目1番6号	2,911	—	2,911	5.70
計	—	2,911	—	2,911	5.70

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,933	1,447,450
売掛金	211,713	320,331
有価証券	—	11,913
仕掛品	—	51,842
その他	48,957	67,149
貸倒引当金	△765	△1,111
流動資産合計	1,611,837	1,897,574
固定資産		
有形固定資産	38,161	40,800
無形固定資産		
のれん	1,545	1,103
ソフトウェア	200,506	183,467
ソフトウェア仮勘定	9,540	3,000
その他	604	1,469
無形固定資産合計	212,196	189,041
投資その他の資産	96,262	123,838
固定資産合計	346,620	353,679
資産合計	1,958,458	2,251,254
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,495	222,624
短期借入金	—	32,498
未払法人税等	34,637	38,195
賞与引当金	8,066	9,328
その他	149,117	239,570
流動負債合計	353,317	542,217
固定負債		
長期借入金	—	2,521
退職給付引当金	—	13,454
その他	2,913	11,500
固定負債合計	2,913	27,475
負債合計	356,230	569,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,290	381,290
資本剰余金	437,090	437,090
利益剰余金	808,557	888,783
自己株式	△77,912	△77,912
株主資本合計	1,549,025	1,629,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△108	△532
為替換算調整勘定	—	312
その他の包括利益累計額合計	△108	△220
少数株主持分	53,311	52,530
純資産合計	1,602,227	1,681,561
負債純資産合計	1,958,458	2,251,254

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,211,521	1,488,230
売上原価	713,105	918,784
売上総利益	498,415	569,446
販売費及び一般管理費	*1 409,319	*1 433,914
営業利益	89,096	135,531
営業外収益		
受取利息	351	288
受取配当金	388	142
持分法による投資利益	—	4,329
技術指導料	—	1,634
その他	637	847
営業外収益合計	1,377	7,242
営業外費用		
支払利息	—	273
為替差損	49	—
自己株式取得費用	198	—
営業外費用合計	247	273
経常利益	90,226	142,500
特別利益		
出資金売却益	—	1,445
負ののれん発生益	—	8,142
特別利益合計	—	9,587
特別損失		
固定資産除却損	*2 101	*2 277
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,750	—
特別損失合計	9,851	277
税金等調整前四半期純利益	80,374	151,810
法人税、住民税及び事業税	29,356	36,213
法人税等調整額	59	10,881
法人税等合計	29,416	47,094
少数株主損益調整前四半期純利益	50,957	104,716
少数株主損失(△)	△2,842	△780
四半期純利益	53,800	105,497

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,957	104,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	△424
持分法適用会社に対する持分相当額	—	312
その他の包括利益合計	△28	△111
四半期包括利益	50,929	104,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,771	105,385
少数株主に係る四半期包括利益	△2,842	△780

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	80,374	151,810
減価償却費	69,656	69,740
出資金売却損益(△は益)	—	△1,445
のれん償却額	2,225	441
負ののれん発生益	—	△8,142
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△376	△354
賞与引当金の増減額(△は減少)	58	△6,824
退職給付引当金の増減額(△は減少)	—	485
受取利息及び受取配当金	△739	△430
支払利息	—	273
持分法による投資損益(△は益)	—	△4,329
固定資産除却損	101	277
売上債権の増減額(△は増加)	74,005	△8,226
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△17,840
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,606	17,668
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,227	△2,130
その他	△1,082	8,541
小計	166,388	199,515
利息及び配当金の受取額	739	416
利息の支払額	—	△199
法人税等の支払額	△35,513	△33,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,614	166,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△4
有形固定資産の取得による支出	△4,207	△3,242
無形固定資産の取得による支出	△2,385	△33,532
投資有価証券の償還による収入	—	249
関係会社出資金の払込による支出	△9,204	—
出資金の売却による収入	—	2,606
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	※2 △6,702
差入保証金の差入による支出	—	△1,166
差入保証金の回収による収入	7,425	25
保険積立金の積立による支出	—	△838
定期預金の預入による支出	—	△100,300
定期預金の払戻による収入	—	100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,371	△42,906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△101,251
長期借入金の返済による支出	—	△2,913
自己株式の取得による支出	△38,186	—
配当金の支払額	△24,869	△28,895
少数株主への配当金の支払額	△460	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,515	△33,059
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	59,727	90,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,047	1,301,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,208,775	※1 1,392,446

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年6月30日)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社インフォーテックを、平成24年2月17日付で株式取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。

なお、平成24年3月31日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を連結しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社の持分法非適用関連会社であった上海凱懿商貿有限公司は、重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年1月1日
至 平成24年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(会計処理基準に関する事項)

(1) たな卸資産の評価方法

新たに連結の範囲に含めた株式会社インフォーテックのたな卸資産(仕掛品)については、個別法による原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 退職給付引当金

新たに連結の範囲に含めた株式会社インフォーテックにおいて、従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計に関する実務指針(会計制度委員会報告第13号)に定める簡便法に基づき、退職金規程による当第2四半期連結会計期間末自己都合要支給額を計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

新たに連結の範囲に含めた株式会社インフォーテックは、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のプロジェクトについては工事完成基準を適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間においては、工事進行基準を適用するプロジェクトはありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)																				
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">33,350千円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">174,279千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">5,383千円</td> </tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">車両運搬具</td> <td style="text-align: right;">12千円</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">88千円</td> </tr> </table>	役員報酬	33,350千円	給与手当	174,279千円	賞与引当金繰入額	5,383千円	車両運搬具	12千円	工具、器具及び備品	88千円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">35,774千円</td> </tr> <tr> <td>給与手当</td> <td style="text-align: right;">188,961千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">8,731千円</td> </tr> </table> <p>※2 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物附属設備</td> <td style="text-align: right;">195千円</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">81千円</td> </tr> </table>	役員報酬	35,774千円	給与手当	188,961千円	賞与引当金繰入額	8,731千円	建物附属設備	195千円	工具、器具及び備品	81千円
役員報酬	33,350千円																				
給与手当	174,279千円																				
賞与引当金繰入額	5,383千円																				
車両運搬具	12千円																				
工具、器具及び備品	88千円																				
役員報酬	35,774千円																				
給与手当	188,961千円																				
賞与引当金繰入額	8,731千円																				
建物附属設備	195千円																				
工具、器具及び備品	81千円																				

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)																																
<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">1,258,775千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td style="text-align: right;">△50,000千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,208,775千円</td> </tr> </table>	現金及び預金	1,258,775千円	預入期間が3か月超の定期預金	△50,000千円	現金及び現金同等物	1,208,775千円	<p>※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">1,447,450千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定</td> <td style="text-align: right;">11,913千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3か月超の定期預金</td> <td style="text-align: right;">△55,003千円</td> </tr> <tr> <td>現金同等物以外の有価証券</td> <td style="text-align: right;">△11,913千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,392,446千円</td> </tr> </table> <p>※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳</p> <p>株式の取得により、新たに株式会社インフォーテックを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳、並びに同社株式の取得価額と取得による支出(純額)との関係は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">306,060千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">37,231千円</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">△165,701千円</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">△25,030千円</td> </tr> <tr> <td>負ののれん</td> <td style="text-align: right;">△8,142千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">株式の取得価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">144,417千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">△137,714千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引：取得による支出額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,702千円</td> </tr> </table>	現金及び預金	1,447,450千円	有価証券勘定	11,913千円	預入期間が3か月超の定期預金	△55,003千円	現金同等物以外の有価証券	△11,913千円	現金及び現金同等物	1,392,446千円	流動資産	306,060千円	固定資産	37,231千円	流動負債	△165,701千円	固定負債	△25,030千円	負ののれん	△8,142千円	株式の取得価額	144,417千円	現金及び現金同等物	△137,714千円	差引：取得による支出額	6,702千円
現金及び預金	1,258,775千円																																
預入期間が3か月超の定期預金	△50,000千円																																
現金及び現金同等物	1,208,775千円																																
現金及び預金	1,447,450千円																																
有価証券勘定	11,913千円																																
預入期間が3か月超の定期預金	△55,003千円																																
現金同等物以外の有価証券	△11,913千円																																
現金及び現金同等物	1,392,446千円																																
流動資産	306,060千円																																
固定資産	37,231千円																																
流動負債	△165,701千円																																
固定負債	△25,030千円																																
負ののれん	△8,142千円																																
株式の取得価額	144,417千円																																
現金及び現金同等物	△137,714千円																																
差引：取得による支出額	6,702千円																																

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月18日 定時株主総会	普通株式	24,869	500	平成22年12月31日	平成23年3月22日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月16日 定時株主総会	普通株式	28,895	600	平成23年12月31日	平成24年3月19日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	305,902	442,850	462,768	1,211,521	—	1,211,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	22,620	—	23,620	△23,620	—
計	306,902	465,470	462,768	1,235,141	△23,620	1,211,521
セグメント利益	129,222	52,480	95,176	276,879	△187,783	89,096

(注) 1. セグメント利益の調整額△187,783千円には、セグメント間取引消去1,278千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△189,061千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャー 事業	ITソリュー ション事業 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	292,663	456,477	502,916	236,172	1,488,230	—	1,488,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	14,274	22	2,640	17,937	△17,937	—
計	293,663	470,752	502,939	238,812	1,506,167	△17,937	1,488,230
セグメント利益	110,284	48,026	133,705	27,467	319,484	△183,952	135,531

(注) 1. セグメント利益の調整額△183,952千円には、セグメント間取引消去△1,553千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△182,399千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. ITソリューション事業につきましては、株式会社インフォーテックを平成24年2月17日付で子会社化し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成24年3月31日としたため、当第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

ITソリューション事業において、当社は株式会社インフォーテックの株式を取得し連結子会社としました。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,142千円であります。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年6月30日)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年6月30日)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成24年6月30日)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,090円79銭	2,190円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	53,800	105,497
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	53,800	105,497
普通株式の期中平均株式数(株)	49,322	48,159
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,089円31銭	2,187円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	67	59
(うち新株予約権)(株)	(67)	(59)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月3日

株式会社アイフィスジャパン
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川 島 繁 雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 島 達 弥 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイフィスジャパンの平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイフィスジャパン及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【会社名】	株式会社アイフィスジャパン
【英訳名】	IFIS JAPAN LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 大沢 和春
【最高財務責任者の役職氏名】	取締役 管理担当 野口 祥吾
【本店の所在の場所】	東京都千代田区西神田三丁目1番6号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役 大沢和春及び当社最高財務責任者 取締役管理担当 野口祥吾は、当社の第18期第2四半期（自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。